

かんだざり窟殿

第四十五圖解説

天 かんだざりヨリうだやざりヲ望ム  
地 ららにならる窟ノ外景

かんだざり (Kandagiri) うだやざり (Udayagiri) ノ二山ハ青山<sup>ニラギリ、ドハワギリ</sup>白山ト共ニ印  
度かたぐノ東南まはいなぢ河ノ右岸ニアリうだやざりノ高サ百十英尺ニ  
シテかんだざりヨリ低キコト十三英尺ナリうだやざりニハ窟殿大ナルモ  
ノ十七個アリテ其他小窟身ヲ容ル、ニ足ルモノ甚多シ凡テ佛教ニ屬シラ  
トにならる殿がね、さがるぶ殿ハ其有名ナルモノナリかんだざリニモ亦  
多數ノ窟殿アリト雖モ凡テ闍延教ニ屬ス唯あなんた窟殿ノミ佛教ニ屬セ  
リ、佛教窟殿ハ西洋紀元前二世紀ノ頃ニ成リ、闍延教ノモノハ頗ル後代ニ成  
レリうだやハ日出ヲ義トス、晨天ノ日出ヲ望マンニハうだやざり最モ好シ、  
故ニ此名アリト云フ、圖中「天」ハうだやざりの全景ニシテ、山中諸處ニ存スル  
洞穴ハ皆所謂佛教窟殿ナリ、地「らら」にならる窟殿ノ外景ニシテ二層ヨリ  
成リ、其結構特殊ノ式ヲ爲ス、